

# 会 議 結 果 報 告 書

令和 8 年 2 月 9 日

|   |   |
|---|---|
| 会議の名称   | 令和 7 年度<br>第 3 回在宅医療・介護連携代表者会議及び認知症施策推進会議   |
| 開催日時  | 令和 8 年 1 月 2 6 日（月） 1 4 時 0 0 分～1 5 時 3 0 分   |
| 開催場所  | 志木市役所大会議室 3-3   |
| 出席委員  | 岩崎委員、芝原委員、宮本委員、正岡委員、根岸委員、崎田委員、木野委員、<br>奥山委員、長内委員、澁谷委員、當麻委員、佐藤委員、大原委員、丸山委員、<br>土屋委員、生方委員、辻委員、宮川委員<br>(計 1 8 人)                   |
| 欠席委員  | 相原委員、正岡委員、瀧委員、森委員、西委員、田中委員<br>(計 6 人)   |
| 議 題   | 議事<br>(1) 令和 7 年度 認知症初期集中支援チーム事業実施報告<br>(2) 志木市訪問診療受給者調査の報告について<br>(3) 在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況について<br>(4) 令和 8 年度在宅医療・介護連携推進事業に向けて |
| 結 果   | 審議内容の記録のとおり (傍聴者 0 人)   |
| 事 務 局   | 朝霞地区医師会地域包括ケア支援室 菅田コーディネーター<br>福祉部中村部長、長寿応援課 仲野課長、斉藤副課長、増田主査、大野主任、<br>名武主事  |
| 審 議 内 容 の 記 録（審 議 経 過、結 論 等）  |   |
| <p>&lt;第 1 部&gt;</p> <p>1 開会</p> <p>2 岩崎会長あいさつ</p> <p>今年度もケアカフェしきや医療と介護のフェスタなどさまざま活動していただき、市民の皆様にも評価いただいていると聞いている。これからも活動を続けていきたいと考えており、ご協力を引き続きお願いしたい。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和 7 年度認知症初期集中支援チーム事業報告</p> <p>長寿応援課より、令和 7 年度の訪問実績、ケース統計、支援内容などを説明。</p> |   |

・令和7年度の訪問実施者は、4月から12月末で6件、3月の予定を含めると8人予定である。また、性別や平均年齢や世帯状況、把握ルートは高齢者あんしん相談センターが大半をしめているなどを報告した。訪問実施者のうちHDS-R（長谷川式認知症スケール）を実施した人は、全員が認知症の可能性があった。さらに、J-ZBI\_8Zarit（介護負担尺度）を実施した介護者については、抑うつ症状の人が多い結果だった。

・医療や介護につながっていない人への支援として、訪問当日に介護認定の申請を行い、要介護認定を受け、手すりの貸与など住環境の整備を行った。定期的に受診している人は家族が付き添い、服薬管理も行われた。単身世帯の人については、地域包括支援センターが受診支援と服薬確認を行っている。訪問後、認知症専門医療機関を受診し、診断のうえ治療が開始された。

・事業の効果はすぐに現れない場合もあるが、関係機関と連携し、認知症の人が住み慣れた地域で生活を続けられるよう取り組んでいくとの説明があった。

・長内委員）菅野病院では、ご本人の戸惑いや不安を解消できるようその人に合わせた情報提供を行っている。志木市のエンディングノートやACPリーフレットなどは認知症の人の意思決定支援に活用している。

## （2）志木市訪問診療受給者調査の報告について

長寿応援課より、令和7年6月に実施した調査について説明。

・本市のケアプランを策定している市内外の居宅介護支援事業所と市内地域包括支援センターの36事業所から協力を得られた。

・介護サービス利用者を対象に、訪問診療受給者数や受給状況、訪問診療を提供している診療所や病院、介護支援専門員等と医師との連携について得られた調査結果を説明。

・本調査により、訪問診療とともに訪問看護も需要が高くなることが予測される。

## （3）在宅医療・介護連携推進事業の取り組み状況について

長寿応援課より、志木市在宅医療・介護連携推進事業の取り組みについて説明。

朝霞地区医師会地域包括ケア支援室菅田コーディネーターより、朝霞地区4市の取り組みについて説明。今年度、急変時対応検討ワーキンググループを立ち上げ消防や病院、高齢者施設、保健所等で「朝霞地区・急変時対応の手引き～高齢者施設版～」を作成し、1月13日に志木ではお届け講座を実施し、普及・啓発を行った。入退院時の事例をもとにしたケースカンファレンスの開催を3月上旬に予定。また、「がんと向き合う暮らしのガイドー在宅療養生活のヒント集ー」についても、市民や支援者に活用いただきたい。

佐藤委員）評価について訪問介護事業所数は、施設併設と地域型を分けて表記しないと市民に誤解を与える可能性があるため、整理してもらいたい旨の要望があった。

## 4 その他

・次年度の委嘱について

現委員は3月末で任期が満了となり、6期目も引き続きお引き受けいただきたい。また、

事業推進のため新委員へお声かけも検討している。人事異動等で交代の予定がある場合は、事前に事務局まで連絡をいただきたい。３月中に次期委員選出の通知を送付予定。

#### ５ 福祉部長あいさつ

身近な人が病気や怪我をきっかけに医療や介護を利用した経験から、医療と介護の連携の重要性を実感している。これまでの委員の協力に感謝するとともに、今後も在宅医療・介護連携および認知症施策にそれぞれの立場で協力をお願いしたい。

#### 〈来年度日程〉

令和８年度第１回会議 令和８年５月２１日（予定）

令和８年度第２回会議 令和８年１０月２２日（予定）

令和８年度第３回会議 令和９年１月１９日（予定）

#### ＜第２部＞

①在宅医療・介護の普及啓発グループ、②医療・介護関係者連携促進グループに分かれて今後の具体的な取組について協議を行った。

以 上